

大学生等の地域外人材との共創を自動化するスマホアプリ等開発業務委託
公募型プロポーザル受託候補者選定基準

1. 総則

本選定基準は、大学生等の地域外人材との共創を自動化するスマホアプリ等開発業務委託の受託候補者（以下「候補者」という。）をプロポーザル方式により特定するにあたり、大学生等の地域外人材との共創を自動化するスマホアプリ等開発業務委託公募型プロポーザル実施要領に定めるほか、最も優れた提案を客観的に評価・選定するための方法として、基準等を示すものである。

2. 選定手順

- （１）本業務の最優秀者を選定するため、第一次審査（書類審査）及び第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を行い、最優秀提案者（候補者）１者、次点の提案として、優秀提案者（次点者）１者を選定する。
- （２）第一次審査は、本選定基準に基づき採点を行う。
- （３）第二次審査は、プレゼンテーション及び各委員からのヒアリングを行い、本選定基準により評価を行う（第二次審査は実施しない場合もある）。

3. 第一次審査

- （１）企画提案の評価

応募者から提出された企画提案について、次の項目を評価する。

応募者が１者の場合でも有効とするが、実施要領等に規定する資格要件及び応募条件を満たしていない場合、または第一次審査の評価点の平均点が 90 点（150 点の 6 割）未満となった場合は失格とする。

■第一次審査評価項目及び配点表

No.	評価項目	評価基準	配点
1	見積額	計算式 1 による	3
2	運用保守費見積額	計算式 2 による	7
3	実施体制 業務実績、類似システム開発実績	業務遂行力を有するか	5
4	構築要件 (実現方式(ネイティブアプリ/PWA)の選定理由を含む)	適切に構築されているか	5
5	運用保守要件 (運用保守費を安価に抑えるための具体的な方策を含む)	適切に構築されているか 具体的かつ現実的で、継続性が見込まれるか	20
6	情報セキュリティ要件	適切に構築されているか	5
7	データセンター要件	適切に構築されているか	5
	機能要件		
8	提案概要、全体計画、特徴等	業務目的を理解し、その達成につながるか	20
9		複数の機能が一つのパッケージとしてのまとまりを有しているか	10
10	機能 A :	提案が与条件との整合が取れており具体的な提案がなされているか(適格性)、理論的に裏付けられており説得力のある提案がなされているか(実現性)、専門的知識や経験に基づき創造的な提案がなされているか(独創性)等	5
11	機能 B :		10
12	機能 C :		10
13	機能 D :		15
14	機能 E :		20
15	仕様書に記載の要件以外の提案 (本業務内・本業務外)		10
		小計	150

(2) 評価点の算出方法

No.1、No.2 については次の計算式により、小数点以下は切り捨てる。

計算式 1 : (最低提案業務価格 ÷ 当該応募者の提案業務価格) × 配点

計算式 2 : (最低提案見積価格の合計 ÷ 当該応募者の提案見積価格の合計) × 配点

No.3 以下は、次に示す 5 段階評価により評価点を算出する。算出に当たっては、評価項目の内容ごとに各委員が個別に評価を行ったうえで合計点を算出し、全委員の合計点を当該応募者の評価点とする。評価点をそれぞれ算出するなかで小数点以下の値が出た場合は、小数点第二位以下を四捨五入した値とする。

評価	判断基準	評価点の算出方法
A	大変優れている	各項目の配点×1.0
B	優れている	各項目の配点×0.75
C	標準的である	各項目の配点×0.5
D	劣っている	各項目の配点×0.25
E	極めて劣っている	各項目の配点×0.0

（３）第二次審査対象の選定

第一次審査において評価点の平均点を 90 点以上獲得した者のうち、評価点が高い 3 者を第二次審査の対象に選定する。評価点が同点となる場合は、次のとおり順位を決定する。

- ① No.8～No.15 の評価点の合計が高い者を上位とする。
- ② ①が同点の場合、No.5 の評価点の合計が高い者を上位とする。
- ③ 上記①②により順位が決定できない場合は、選定委員会委員長が上位者を決定する。

第一次審査において評価点を最も多く獲得した者との評価点の差が大きく、第二次審査での逆転可能性が無い者は、第二次審査の対象者には選定しないものとする（第二次審査において上位者が 0 点で下位者が満点を獲得しても逆転できない点数差がある場合）。

前述の選定の結果、第二次審査の対象者が 1 者になった場合は、第二次審査は実施しないものとする。

4. 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒヤリングの評価

第一次審査通過者を対象に、プレゼンテーション及びヒヤリングによる審査を実施し、次の項目を評価する。

■第二次審査評価項目及び配点表

No.	評価項目	評価基準	配点
16	業務目的の達成に対する意欲	業務目的を十分に理解した上で、業務目的を達成しようとする意欲や熱意が感じられるか	10
17		使い易いアプリ、使い続けてもらえるアプリが開発されると感じられるか	10
		小計	20

(2) 評価点の算出方法

第一次審査で用いた5段階評価による算出方法を用いる。

5. 最優秀提案者、優秀提案者の選定

(1) 総合評価点の算出

第一次審査の評価点と第二次審査の評価点を合算し、応募者ごとの総合評価点を算出する。なお、第二次審査を実施しなかった場合は、第一次審査の評価点をもって総合評価点とする。

(2) 最優秀提案者、優秀提案者の選定

総合評価点の最も高い者を最優秀提案者（候補者）に、次点の者を優秀提案者（次点者）として選定する。総合評価点が同点となる場合は、次のとおり順位を決定する。

- ① No.8～No.15 の評価点の合計が高い者を上位とする。
- ② ①が同点の場合、第二次審査の評価点の合計が高い者を上位とする。
- ③ 上記①②により順位が決定できない場合は、選定委員会委員長が上位者を決定する。